

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	メニューはオール佐久穂町！地域資源と景観、産業を活かし、食と文化の未来とコミュニティを醸成するフードコート交流推進事業（人の営みが奏でる地方創生推進プロジェクト）
事業主体 (連絡先)	佐久穂町 (佐久穂町公民館 南佐久郡佐久穂町大字海瀬 2570 TEL0267-86-2041)
事業区分	(8) その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	2,255,296円 (うち支援金 1,428,000円)

事業内容

佐久穂町生涯学習館茂来館を町で初めてとなる「地方創生の中心としての交流サロン」と位置づけ、館内外にて新たに以下の事業を実施した。

1. フード（風土）コート整備事業
 - ・町有林100年生天然カラマツテーブル設置
 - ・飲食施設（カフェ）整備
 - ・文化芸術作品展示ギャラリー整備
2. 花いっぱい運動事業
 - ・ラベンダー等の植栽
3. わくわくチャレンジ体験講座事業
 - ・刀匠に学ぶ親子ペーパーナイフづくり
 - ・親子で作って食べる地宝創世地パン など



【カフェもらい】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① カフェ利用を通じて食体験ができるようになっただけでなく、住民間交流の場となり、100年生天然カラマツ、宮田三郎木版画、スタインベルグピアノなど町資源のPRができた。
- ② 新規に運営をはじめたカフェや、木版画展の常設展示の効果もあり、既存のイベントや講座への参加者数も増加させることができた。
茂来館利用者数実績
H27年度 19,000人 → H28年度約 22,000人 (H29.2.28現在)
文化祭 約 2,100人 → 約 2,900人 など
- ③ 新規に開講した体験講座にて、ふるさと教育や食育、職業体験につながる親子講座を開催することができた。
講座参加者 目標 100人 → 実績 150人

【目標・ねらい】

- ① 町内資源の発信
- ② 茂来館利用者の増加
- ③ 体験講座による産業のPRと継承

※自己評価【A】

【理由】

従来の茂来館の利用者に加え、新たに多くの来館者が増え、新しい公民館の利用を拡大するはじめての1歩とすることができたため。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・フードコート、ギャラリーでのイベント開催、町民利用の促進（ミニコンサート、講演会等）による館利用者、利用率の増加
- ・体験講座の拡充（花育、動物飼育による情操教育など）による産業のPRや、町内者の紹介、親子教育の場の提供